してはどうか。

間

す。を行いました。要旨は次のとおりでを行いました。要旨は次のとおりでの議員が市政全般について一般質問の目の日8日、9日の本会議で、19人

オリンピックを見据えて 農業者との連携を



加藤 浩司

自由民主クラブ

議員

開催まで5年に迫ってい を進めるべきだ。 者の活性化を図る取り組み 伝やPRを行い、市内事業 手等をイベントに招いて宣 る。商工会等と連携し、選 ンピック・パラリンピック 市長 オリンピックの開催 2020年東京オリ けて連携を考えている。 という品種があり、金メダ の商業、農業の活性化に向 醸成とともに具体的な地域 様々な機会を捉えて、機運 ロコシにゴールドラッシュ ルラッシュとかけたイベン ・開催の提案などがある。 JA等から、トウチ

催場所だけでなく島しょの はないが、オリンピック開 いと考える。 市長現在、具体的な計画 で連携しようという思いが ほか9町村も含め多摩全体

全で安心であることのPR

下することで、農産物が安

選手を応援する企画の中で 等と連携し、市に縁がある 議員 JAや市内の農業者

市内産の農産物をプレゼン

にもなる。この好機を生か 樹木による通行障害を解消し 育まれている。

安全安心な歩行空間の確保を

自由民主クラブ 渥美 典尚

路樹や生け垣等の繁茂によ り、行政と市民の緑に関す 多くの施策に取り組んでお る意識が高い。一方で、街 議員本市では、緑を守る

市長 市が維持管理を行う よる障害への対応を伺う。 道路設備を覆うなど繁茂に の枝葉が信号機や標識等の る問題も起きている。樹木

り込みを依頼している。 全安心・市民協働パトロー 民の力を活用すべきだ。安 供して対応を依頼してい ポイントにしてはどうか。 る障害箇所」を載せ、注目 ルの報告事項に「樹木によ ロールで土地所有者等に刈 る。個人宅へは、道路パト 道については、都へ情報提 繁茂障害の確認に市

民法や道路法に基づき強い するような枝葉の繁茂は、 近隣トラブルに発展

として掲載している。

街路樹は、市が対応し、都 みで切ることはできない。 きをしなければ市の判断の 除き、行政代執行等の手続 要望や指導ができないか。 行政指導という形で丁寧に 倒木などの緊急時を

場合は、道路パトロールを 教育長 通学路の安全確保 求められる道路であり、特 通じて土地所有者等へ刈り は、道路管理者等と連携し 考える。通学路における樹 別な対応があってもよいと て対応している。私有地の 木の繁茂への対応を伺う。

ニュアルに報告事項の例示 危機管理担当部長 実施マ

込みを要請している。



議員 ブ数の確保策を伺う。 減少傾向にある。老人クラ などの素晴らしい目的を持 つ団体だが、高齢者が増加 者の健康と生きがいづくり しているにもかかわらず、 老人クラブは、高齢

ら取り組みを進めていく。

時に行われることが望まし でも、多様なイベントが同 だ。時間軸を持って地域の 準備期間の取り組みも重要 く意義あるものにするには 期間自体は短いが、密度高

され、経済活性化に貢献し

な芸術イベントが同時開催 オリンピックでは、大規模 議員 2012年ロンドン

自由民主クラブ

土屋

た。来る東京オリンピック

商業関係者等と連携しなが

的な部分でも問題提起して 市長 実やPRなどでクラブ数の 会と連携し、活動内容の充 きた。今後も社会福祉協議 都に補助金等の制度



維持に協力していきたい。 ついて所見を伺う。 える。児童遊園等の活用に 齢者の居場所ができると考 スペースを設けることで高 児童遊園等に憩いの

議員 市民農園は、高齢者 を推進していきたい。 設置している。今後も、憩 康づくりの器具を積極的に いの空間となる公園づくり

れると考えている。 生活環境部長 都が都市農 農園の用地の確保が期待さ ることで、今後新たな市民 業の推進のために提案して 園の拡充について伺う。 数とは言いがたい。市民農 が、ニーズに対して十分な いる国家戦略特区が実現す

議員

局齢者が生きがいを持って 唇らせる施策を推進せよ

都市整備部長 ベンチや健

動に大いに貢献している の心身の健康維持や余暇活

議員 持続可能な在宅介護

議員 通学路はより安全が 対応をしている。 議員

制度」は、現状多様な課題 した「子ども・子育て支援新 た取り組みとしてスタート 待機児童解消に向け 自由民主クラブ

市長量的拡充だけではな を抱えている。財源問題を が課題だ。消費税財源のほ 含めた将来の展望を伺う。 ランスのとれた保育の提供 く、質の向上を確保したバ

健 議員 談や園庭開放など、それぞ 市長 子ども・子育て支援 今後の私立幼稚園との連携 及び支援策について伺う。 れの地域の要望に応じた独 か、恒久財源の確保に向け 新制度では、これまで以上 自の活動を展開している。 議員 私立幼稚園は教育相 た取り組みが必要となる。 に市と私立幼稚園の連携が

切な支援をしていきたい。

支援のあり方を伺う。 護から解放され、休息でき るように支援するレスパイ には、介護者が一時的に介 トケアが効果的だ。本市の

に取り組んでいく。

子育て支援施策の 充実と

れると、

保育の質の維持・向上を

小 俣

重要となる。市としても適 くなっている。対応を伺う。 維持・向上を求める声が強 の拡大に伴い、保育の質の 主体である市内の保育施設 議員 保育サービスの提供 り方を検討していきたい。 と幼保一元化の望ましいあ 設の認定こども園への移行 育委員会と意見交換しなが 市長私立幼稚園協会や教 いて、今後の方向性を伺う。 な認定こども園の開設につ 議員 全国的な傾向に比べ ら、市内の教育施設、保育施 機児童解消策としての新た 置数は少ないと感じる。待 て本市の認定こども園の設

に努めてきた。引き続き取 保育のガイドラインの改定 子ども政策部長本市では り組みを進めていきたい など、質の高い保育の提供 や保育指導担当職員の配置

都市計画道路3・2・2号は 地域の意見を反映した整備を

自由民主クラブ 吉野 和之 議員

分断される。影響を伺う。 との問題点を伺う②3・2・ 画について、①3・2・2号 2号により市道第18号線が 線の接続部分周辺の道路計 3・2・2号と放射第5号 と人見街道が接続しないこ 三鷹都市計画道路 議員 道路管理者等に対し 分断され、地域活性化等に ②地域の主要な生活道路が に影響を及ぼすと認識する の形成や地域のまちづくり **市長** ①道路ネットワー 影響が出ると考えている。 市としての要望をどの

などレスパイトケアの充実 促進や家族介護者交流事業 健康福祉部長 ・トステイサービスの利用 今後もショ

美惠子 の調整を や教育委員会等関係機関と 見街道へ入る車は必然的に 大幅に増える。対応を伺う。 道路、通学路の通過車両が 市道第6号線に回り、生活 る地域の道路整備について 議員 市部と区部にまたが と協働の枠組みを整理し ど都に要請したい。

ス提供な 全性と、 自治の視点とのバランスが は、住民自治の視点と団体 たいと語ったが、財政の健 の立場でまちづくりを進め 議員市長は、全ての市民 を両立するために きめ細かなサービ 自由民主クラブ

国や都の 別の主体による目標実現の 重要ではないか。 づくりを進めるべきだ。 界があいまいだ。それぞれ 議員 まちづくりにおける 市長行政への参画の可能 め、考え方を整理してまち ための取り組みであるた 市民参加と協働の領域の境 ービスの質を高めたい。 め、市民との協働によりサ 市長団体自治の観点から の補助金獲得に努

り方を創意工夫したい。 できます(ただし、児童及び乳幼児については議長の所3階議会事務局で手続きをすれば、どなたでも傍聴市議会本会議は公開されており、本会議当日に市役 なプロセスだと考える。

必要となります。)。

性を広げるため、定義によ

らず実践の中で望ましいあ

行政参画の基本は、対面的

した手法を研究したいが、

市長(今後もICTを活用

議員計画どおりに整備さ して要望書を提出した。 ように伝えてきたか伺う。 で東京都建設局長に市長と 平成27年4月28日付 は、区及び都との十分な連

文通管理者との協議 3・2・2号から人 れるよう調整をしたい。 市長 引き続き丁寧な対応が図ら 見交換会を開始している。 問題については、地域との 景にあると認識している。 とが不十分な情報提供の背 設事務所が対応してきたこ 市長本市と杉並区の境で 携が必要だ。所見を伺う。 要と考える。見解を伺う。 意見交換会を行うことが必 議員 今後当該地域の道路 もあり、所管の違う都の建 都は地域住民との意

後のまちづくりに生かせ

議員 石 井 医療・福祉などに莫 良司 議員

れるよう最大限努力する。 議員 平成13年度に始めた しつつ、反対意見の市民か 決断をしていくのか。 な意見が出る中で、どのよ 後の展望について伺う。 試みでもあった。現状と今 ティーの意見を吸い上げる みは、サイレントマジョリ eーデモクラシーの取り組 らも一定程度の理解が得ら 会が支えていることを尊重 市長市長の意思決定を議 うに信頼関係を築きながら 要であるが、市民から様々 と協働で取り組むことは重 化時代の課題に、市民参加 大な財源を要する少子高齢